

M-AUDIO[®]

OXYGEN PRO

Preset Editor

ユーザーガイド

はじめに

Oxygen Pro Preset Editorソフトウェアにより、Oxygen Proのコントロールがコンピューターに送信する様々なMIDIメッセージを視覚的かつ直感的に編集することが可能です。

情報とサポート

本製品に関する最新情報（ドキュメント、技術仕様、システム要件、互換性情報など）および製品登録については、m-audio.comにアクセスしてください。

その他の製品サポートについては、m-audio.com/support をご覧ください。

インストール

1. ダウンロードした.exe (Windows®) または.pkg (macOS) インストーラーファイルをダブルクリックする。

2. 画面に表示される指示に従います。

インストールが完了したら、以下の手順でOxygen Pro Preset Editorを開いてください。

- Windowsの場合 Windows : スタート・メニューから[All Programs]をクリックし、M-Audioフォルダをクリックし、Oxygen Pro Preset Editorをクリックします。
- macOS : アプリケーションからOxygen Pro Preset Editorをダブルクリックします。

操作

始めてみましょう

Oxygen Pro Preset Editorを開くには：

1. 付属のUSBケーブルでOxygen Proをコンピュータに接続します。(キーボードをUSBハブに接続する場合、パワード・ハブであることを確認してください) Oxygen Proを接続しなくてもOxygen Pro Preset Editorを使用できますが、Oxygen Proにプリセットを送信したり、取得したりすることはできません。
2. Oxygen Proプリセット・エディターを開きます。ウィンドウにはOxygen Proのグラフィック表示と編集可能なすべてのコントロールが表示されます。



プリセットの管理

プリセットについて

プリセットとは、プリセット・エディターで設定したすべての割り当てを含むプリセット・ファイルのことです。これには、MIDI の割り当てや、パッドの LED カラーの割り当てなどが含まれます。複数の異なる設定をプリセットとして保存することができ、状況に応じて使い分けすることができます。例として、ソフトウェアの種類によってプリセットを使い分けたり、制作用のプリセットと演奏用のプリセットを使い分けたりすることができます。

Oxygen Pro には、**16** 個のプリセットを同時に保存しておくことができます。またプリセット・エディターを使って、コンピューターにプリセットを追加保存し、Oxygen Pro にロードすることもできます。

この章では、プリセット・エディターにプリセットをロードする方法(**プリセットの読み込み (ロード)**)、プリセットをコンピューターに保存する方法(**プリセットの保存**)、接続している Hammer 88 Pro にプリセットを送信する方法(**プリセットの送信**)について説明します。

注意：ウィンドウの左下には、現在のプリセットの名前が表示されています。この名前は Oxygen Pro にロードした際、ディスプレイに表示されます。名前を変更するには、フィールドをクリックして新しい名前を入力します。プリセット名は 7 文字までで、スペースもしくは以下の文字を含むことができます。A-Z, 0-9, [] / \ - = _ ' .

プリセットの読み込み（ロード）

プリセットを編集するには、まずプリセット・エディターにプリセットをロードする必要があります。プリセットは、コンピューターからロードすることも、接続した Oxygen Pro からロードすることもできます。



注意：ウィンドウの左下には、現在のプリセットの名前が表示されています。この名前は Oxygen Pro にロードした際、ディスプレイに表示されます。名前を変更するには、フィールドをクリックして新しい名前を入力します。プリセット名は 7 文字までで、スペースもしくは以下の文字を含むことができます。A-Z, 0-9, [] / \ - = _ ' .

パソコンからプリセットをロードするには、以下のいずれかの操作を行います：

- ファイルをクリックし、そして **Load Preset** をクリックします。
- **Ctrl+O** (Windows) または **Command+O** (macOS) を押します。

その後、目的のプリセットファイルを探し、**Open** をクリックします。

接続された Oxygen Pro からプリセットをロードするには：

1. ファイルをクリックし、**Retrieve Preset** をクリックします。もしくは、**Ctrl+Shift+R** (Windows) または **Command+Shift+R** (macOS) を押します。
2. 表示されたウィンドウで、ドロップダウンメニューをクリックして、希望するプリセット番号 (**Preset 1-16**) または Oxygen Pro (RAM) の現在の設定を選択します。

3. **Get** をクリックして選択を確定します。または左上の **X** をクリックしてウィンドウを閉じ、操作をキャンセルします。

重要：ロードしたプリセットを編集しても、Oxygen Pro に保存されているプリセットは変更されません。編集したプリセットを Oxygen Pro に送信する方法は、下記の[プリセットの送信](#)を参照してください。

プリセットの保存

プリセットをコンピューターに保存することで後から編集したり、Oxygen Pro に送信することができます。プリセット・エディターで表示されるすべての MIDI の割り当ては、プリセットに保存されます。



注意：ウィンドウの左下には、現在のプリセットの名前が表示されています。この名前は Oxygen Pro にロードした際、ディスプレイに表示されます。名前を変更するには、フィールドをクリックして新しい名前を入力します。プリセット名は 7 文字までで、スペースもしくは以下の文字を含むことができます。A-Z, 0-9, [] / \ - = _ ' .

プリセットを保存するには、以下のいずれかの操作を行います：

- **ファイル**をクリックし、そして **Save Preset** をクリックします。
- **Ctrl+S** (Windows) または **Command+S** (macOS の場合) を押します。

初めて保存するプリセットの場合は、任意の場所を選択し、ファイル名を入力して、**Save** をクリックします。

プリセットの送信

接続している Oxygen Pro にプリセットを送信すると、プリセット・エディターから Oxygen Pro の内部メモリーにプリセットが転送されます。プリセット・エディターで表示されているすべての MIDI の割り当てが、Oxygen Pro に送信されます。

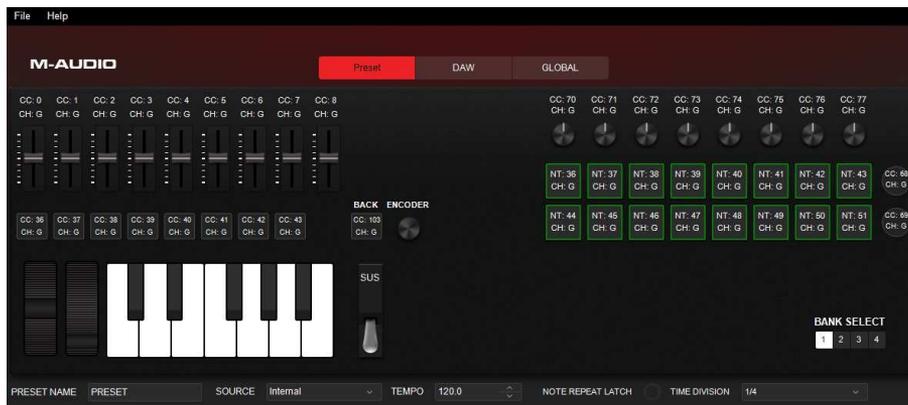


注意：ウィンドウの左下には、現在のプリセットの名前が表示されています。この名前は Oxygen Pro にロードした際、ディスプレイに表示されます。名前を変更するには、フィールドをクリックして新しい名前を入力します。プリセット名は 7 文字までで、スペースもしくは以下の文字を含むことができます。A-Z, 0-9, [] / \ - = _ ' .

接続した Oxygen Pro にプリセットを送信するには:

1. **ファイル**をクリックし、**Send Preset** をクリックします。もしくは、**Ctrl+Shift+S** (Windows の場合) または **Command+Shift+S** (macOS の場合) を押します。
2. 表示されたウィンドウで、ドロップダウンメニューをクリックして、希望するプリセット番号 (**Preset 1-16**) または Oxygen Pro (**RAM**) の現在の設定を選択します。
3. **Send**をクリックして選択を確定します。または右上の**X**をクリックしてウィンドウを閉じ、操作をキャンセルします。(プリセットを送信すると、Oxygen Proの選択した番号のプリセットが上書きされます。)

グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI)



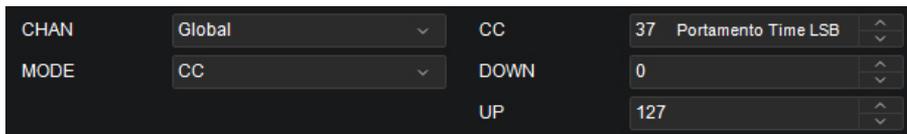
Oxygen Pro のパラメーターを編集するには、ソフトウェア・ウィンドウのグラフィック内で目的のフェーダー、ノブ、パッド等をクリックします。

Preset Name : 選択中のプリセットの名前が表示されています。

Source : テンポをキーボードの内部テンポ (internal) から設定するか、接続している外部接続している DAW (external) に同期させるかを選択します。

Tempo : プリセットの設定テンポが表示されています。

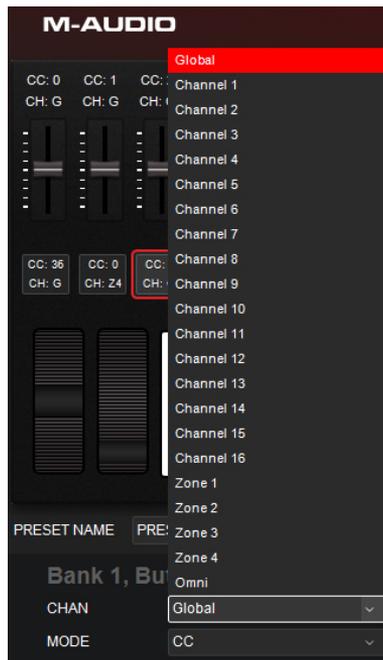
コントロールパネル



選択したコントロールの利用可能なモードと現在のパラメーターなどを設定する**コントロールパネル**がウィンドウの下部に表示されます。コントロールパネルの左上に名前が表示され、その上のグラフィカル・ユーザー・インターフェースでもハイライト表示されます。

コントロールを選択するには、クリックします。

ドロップダウンメニューを開くには、メニューをクリックしてオプションを表示し、再度クリックし選択します。





バリュー（値）フィールドの調整は、以下のいずれかを行います：

- クリックして数字を入力 (0-127).
- フィールドの横にある(▲)または(▼)をクリックします。
- クリックして、パソコンの(↑)または(↓)キーで調整します。

チェックボックスを使用するには、チェックボックスをクリックし塗りつぶすことで有効、塗りつぶしを解除することで無効となります。これにより、設定可能な追加パラメーターが表示されたり、非表示になったりします。

NOTE REPEAT LATCH



エンコーダー

プリセットモードでエンコーダーをクリックすると、押したときと回したときのMIDIの割り当てを設定できます。



プリセットモードで **PUSH** タブを選択した場合、以下のオプションの選択が可能です。パラメーターは、選択した内容によって異なります。

- **CHAN** : エンコーダーはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択可能です。
- **MODE**:
 - **CC** : エンコーダーを押すと選択された **CC** ナンバーと **Up/Down** 値の MIDI メッセージが送信されます。
 - **PROGRAM** : エンコーダーは、選択された**プログラム**ナンバーと **MSB** および **LSB** 値の MIDI メッセージを送信します。
 - **SAME AS DAW** : エンコーダーは、DAW の設定に基づいて MIDI メッセージを送信します。
- **CC** : エンコーダーを押したときに送信される MIDI CC 値を選択します。
- **PRESS** : エンコーダーを押すと、この CC 値を送信します。
- **RELEASE** : エンコーダーを離すと、この CC 値を送信します。

M-AUDIO

- **PROGRAM** : エンコーダーを押すと、このプログラムナンバーを送信します。
- **MSB** : エンコーダーを押すと、このバンク MSB (Most Significant Byte) ナンバーを送信します。
- **LSB** : エンコーダーを押すと、このバンク LSB (Least Significant Byte) ナンバーを送信します。

DAWモードで**PUSH**タブが選択されている場合、以下のオプションから選択し、プッシュされたときのMIDIの割り当てを設定します。パラメーターは、選択した内容によって異なります。



- **CHAN** : エンコーダーはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**) または特定のチャンネル(**Channel 1-16**) を選択します。
- **MODE** : エンコーダーを回したときに送るメッセージを設定します。
 - **CC** : **CC** に設定すると、エンコーダーは標準的な MIDI CC メッセージを DAW に送信します。
 - **PROGRAM** : エンコーダーは、選択された**プログラムナンバー**と **MSB** および **LSB** 値の MIDI メッセージを送信します。
 - **Mackie** : **Mackie Control** に設定すると、Mackie Control モードに対応した DAW でエンコーダーを使用することができます。
 - **Mackie/HUI** : **Mackie/HUI** に設定すると、HUI モードに対応した DAW でエンコーダーを使用することができます。
- **CC** : エンコーダーを押したときに送信される MIDI CC 値を選択します。

M-AUDIO

- **PRESS** : エンコーダー押すと、この CC 値を送信します。
- **RELEASE** : エンコーダーを離すと、この CC 値を送信します。
- **PROGRAM** : エンコーダーを押すと、このプログラムナンバーを送信します。
- **MSB** : エンコーダーを押すと、このバンク MSB (Most Significant Byte) ナンバーが送信されます。
- **LSB** : エンコーダーを押すと、このバンク LSB (Least Significant Byte) ナンバーが送信されます。

プリセットモードでTurnタブが選択されている場合、以下のオプションから選択して、回したときのMIDIの割り当てを設定します。

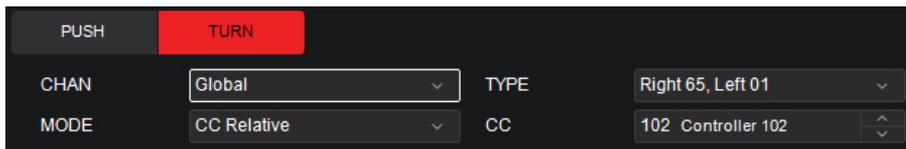
PUSH	TURN		
CHAN	Global	TYPE	Right 65, Left 01
MODE	CC Relative	CC	102 Controller 102

パラメーターは、選択した内容によって異なります。

- **CHAN** : エンコーダーはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択可能です。
- **MODE** : エンコーダーを回したときに送るメッセージを設定します。
 - **CC Relative** : ソフトウェアでエンドレスエンコーダーを使用しパラメーターを調整する際に便利です。Right 65, Left 63; Right 63, Left 65; Right 127, Left 01; Right 01, Left 127 から選択します。
 - **CC Cycle** : 2~4 個のパラメーターを持つボタンや VI コントロールのように、2~4 個の CC 値をコントロールする場合に便利です。2~4 個の値から選択します。

- **CC Inc/Dec** : 複数の CC 値をスクロールする際に便利です。
- **Program Cycle** : ソフトウェアや外部 MIDI ハードウェアで異なるプリセットを選択する際に便利です。2~4 のプログラムメッセージから選択します。
- **Program INC/DEC** : 複数のプログラムメッセージをスクロールする際に便利です。
- **Same as DAW** : Oxygen Pro のエンコーダーに現在の DAW で選択しているメッセージの割り当てとマッチします。

DAW モードで **Turn** タブが選択されている場合、以下のオプションから選択して、回したときの MIDI の割り当てを設定します。



パラメーターは、選択した内容によって異なります。

- **Chan** : エンコーダーはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**) または特定のチャンネル (**Channel 1-16**) を選択します。
- **Mode** : エンコーダーを回したときに送るメッセージを設定します。
 - **CC Relative** : 標準的な MIDI CC メッセージを DAW に送る際に便利です。
 - **CC Cycle** : 2~4 個のパラメーターを持つボタンや VI コントロールのように、2~4 個の CC 値をコントロールする場合に便利です。2~4 個の値から選択します。
 - **CC Inc/Dec** : 複数の CC 値をスクロールする際に便利です。
 - **Program Cycle** : ソフトウェアや外部 MIDI ハードウェアで異なるプリセットを選択する際に便利です。2~4 のプログラムメッセージから選択します。

- **Program INC/DEC** : 複数のプログラムメッセージをスクロールする際に便利です。
- **Mackie Up/Down** : Mackie Control モード対応の DAW で、上下にスクロールする際に便利です。
- **Mackie Left/Right** : Mackie Control モード対応の DAW で、左右にスクロールする際に便利です。
- **HUI Up/Down** : HUI モードに対応した DAW で上下にスクロールする際に便利です。
- **HUI Left/Right** : HUI モードに対応した DAW で左右にスクロールする際に便利です。
- **CC Relative Type** : エンコーダーを左右に回すと、範囲内の値の数値を送ります。
 - **Right 65, Left 63**
 - **Right 63, Left 65**
 - **Right 127, Left 01**
 - **Right 01, Left 127**
- **CC Cycle Mode Type** : エンコーダーを回すと2~4の数値を送ります。
- **CC Cycle Value** : 送信するCC値を設定します。
- **エンコーダーを回した際に送信されるMIDI CC値を選択します。**
- **Program Cycle Mode Type** : エンコーダーを回すと2~4の値を送ります。
- **PROGRAM** : 送信するプログラムを設定します。

ノブ



プリセットモードでノブをクリックすると、Oxygen Pro に対応しているノブの MIDI の割り当てを設定することができます。下部の**バンクセレクトボタン (1-4)** をクリックすることで、別のバンクのノブを選択することができます。



プリセットモードでは、以下のボタンをクリックしてノブのモードを選択します。

- **CHAN**：ノブはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。
- **CC**：ノブはこの CC ナンバーの MIDI メッセージを送信します。

M-AUDIO

- **MIN** : ノブの最小位置の値を設定します。この値を **Up** の値よりも大きくすることで、ノブの極性を反転させることもできます。
- **MAX** : ノブの最大位置の値を設定します。この値を **Down** の値よりも小さくすることで、ノブの極性を反転させることもできます。



DAW モードの場合、設定可能なパラメーターは以下の通りです。パラメーターは、選択した内容によって異なります。

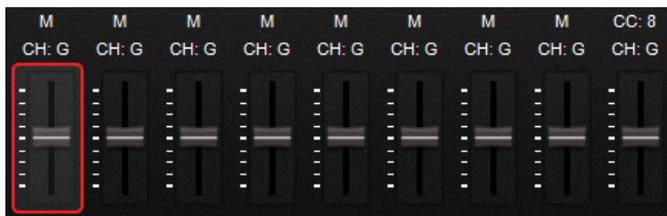
- **CHAN** : ノブはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**) を選択します。
- **MODE** :
 - **CC** : **CC** に設定すると、ノブは標準的な MIDI CC メッセージを DAW に送信します。
 - **Mackie** : **Mackie Control** に設定すると、Mackie Control モードに対応した DAW でノブを使用することができます。
 - **Mackie/HUI** : **Mackie/HUI** に設定すると、HUI モードに対応した DAW でノブを使用することができます。
- **CC** : ノブはこの CC ナンバーの MIDI メッセージを送信します。

M-AUDIO

- **MIN**：ノブの最小位置の値を設定します。この値を **Up** の値よりも大きくすることで、ノブの極性を反転させることもできます。
- **MAX**：ノブの最大位置の値を設定します。この値を **Down** の値よりも小さくすることで、ノブの極性を反転させることもできます。



フェーダー



フェーダーをクリックすると、Oxygen Proで対応しているフェーダーのMIDIの割り当てを設定します。下部のバンクセレクトボタン(1-4) をクリックすると、フェーダーの別のバンクを選択できます。



プリセットモードでは、以下のボタンをクリックしてフェーダーのモードを選択します。

- **CHAN** : フェーダーはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。
- **CC** : フェーダーは、この CC ナンバーの MIDI メッセージを送信します。

M-AUDIO

- **MIN** : フェーダーの最小位置の値を設定します。この値を **Up** の値よりも大きくすることで、ノブの極性を反転させることもできます。
- **MAX** : フェーダーの最大位置の値を設定します。この値を **Down** の値よりも小さくすることで、ノブの極性を反転させることもできます。



DAW モードに設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です:

- **CHAN** : フェーダーはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**) と、特定のチャンネル (**Channel 1-16**) を選択します。
- **MODE** :
 - **CC** : **CC** に設定すると、フェーダーは標準的な MIDI CC メッセージを DAW に送信します。
 - **Mackie** : **Mackie Control** に設定すると、Mackie Control モードに対応した DAW でフェーダーを使用することができます。
 - **Mackie/HUI** : **Mackie/HUI** に設定すると、HUI モードに対応した DAW でフェーダーを使用することができます。
- **CC** : フェーダーは、この CC ナンバーの MIDI メッセージを送信します。
- **MIN** : フェーダーを下に動かすと、値が減少します。フェーダーを上動かすと値が増加します。

- **Max** : フェーダーを上にかすと、値が増加します。下にかすと値が減少します。

Bank 1 Slider 9

CHAN	Global	CC	8	Balance
MODE	CC	DOWN	0	
	CC	UP	127	
	Mackie			
	Mackie/HUI			

ボタン



プリセットモードでは、ボタン（クリップ・ボタン、バック・ボタンを含む）をクリックすると、Oxygen Pro の対応するボタンの MIDI の割り当てを設定可能です。下部のバンクセレクトボタン（1-4）をクリックすると、他のバンクのボタンを選択できます。



モードが **CC** に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です：

- **CC**：ボタンは、この CC ナンバーの MIDI メッセージを送信します。
- **PRESS**：このボタンを押すと、この値の MIDI CC ナンバーが送信されます。
- **RELEASE**：このボタンを離すと、この値の MIDI CC ナンバーが送信されます。
- **CHAN**：ボタンはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル（Global）、特定のチャンネル（Channel 1-16）、ゾーン（Zone 1-4）、全チャンネル（Omni）のいずれかを選択します。



モードが **CC Cycle** に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です:

- **CC** : このボタンでこの CC ナンバーを使って MIDI メッセージを送信します。
- **CHAN** : このボタンで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。
- **TYPE** : ボタンを押すと、この数の CC ナンバーの値が 1 つずつ循環します : **1 Values, 2 Values, 3 Values**, または **4 Values**。
- **VALUE** : ボタンを押すと、この CC ナンバーの値が 1 つずつ、押すたびに循環して送信されません。

CLIP BUTTON 1

CHAN	Global	TYPE	Increment
MODE	CC Inc/Dec	CC	70 Sound Variation
		MIN	0
		MAX	127

モードが **CC Inc/Dec** に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です:

- **CHAN** : ボタンはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。
- **Type** : ボタンを押すと、値の範囲内で次 (**Increment**) のまたは前 (**Decrement**) の値の番号を送信します。
- **CC** : ボタンは、この CC ナンバーを使って MIDI メッセージを送信します。
- **MIN**:値の範囲内で最も低い値を設定します。

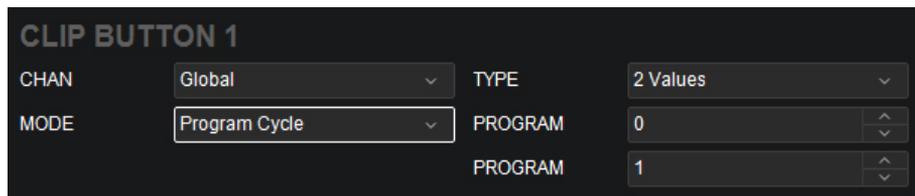
CLIP BUTTON 1

CHAN	Global	PROGRAM	68
MODE	Program	MSB	0
		LSB	0

モードが **PROGRAM** に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です:

- **PROGRAM** : ボタンを押すと、このプログラムナンバーが送信されます。
- **MSB** : ボタンを押すと、このバンク MSB (Most Significant Byte) ナンバーが送信されます。

- **LSB** : ボタンを押すと、このバンク LSB (Least Significant Byte)ナンバーが送信されます。
- **CHAN** : ボタンはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。



モードが **Program Cycle** に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です:

- **CHAN** : ボタンはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。
- **TYPE** : ボタンを押すと、この数の CC ナンバーの値が 1 つずつ循環します : **1 Values, 2 Values, 3 Values, or 4 Values**
- **PROGRAM** : ボタンを押すと、このプログラムナンバーの値が1つずつ、押すたびに循環して送信されます。

M-AUDIO CLIP BUTTON 1

CHAN	Global	TYPE	Increment
MODE	Program Inc/Dec	MIN	0
		MAX	127

モードが **Program Inc/Dec** に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です：

- **TYPE**：ボタンを押すと、プログラムの範囲内で次 (**Increment**) のまたは前 (**Decrement**) のプログラムナンバーを送信します。
- **MIN**：プログラムの範囲内で最も低いプログラムの値を設定します。
- **MAX**：プログラムの範囲内で最も高いプログラムの値を設定します。
- **CHAN**：ボタンはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。

CLIP BUTTON 1

CHAN	Global	TYPE	Latch Off
MODE	Note	NOTE	68 Ab (4)
		ON	127
		OFF	0

モードが **Note** に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です：

- **NOTE**：ボタンを押すと、この MIDI ノートナンバーが送信されます。

M-AUDIO

- **CHAN** : ボタンはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。
- **TYPE** : **Latch On** に設定すると、ボタンは押したときに 1 つの値を送信し、2 回目に押すと異なる値を送信し、押すたびに 2 つの値を交互に送信します。**Latch Off** に設定すると、ボタンは押したときに 1 つの値を送信し、離れたときに 1 つの値を送信します。
- **ON** : ボタンを押してオンにすると、このベロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。
- **OFF** : ボタンを押してオフにすると、このベロシティを持つ MIDI ノートナンバーが送信されます。この値は通常、**0** (ノートをオフにする) になります。

DAWモードでは、ボタン(クリップボタン、Backボタンを含む)をクリックすると、Oxygen Proの対応するボタンのMIDIの割り当てを設定することができます。下部の**バンクボタン (1~4)** をクリックすると、別のバンクのボタンが選択されます。

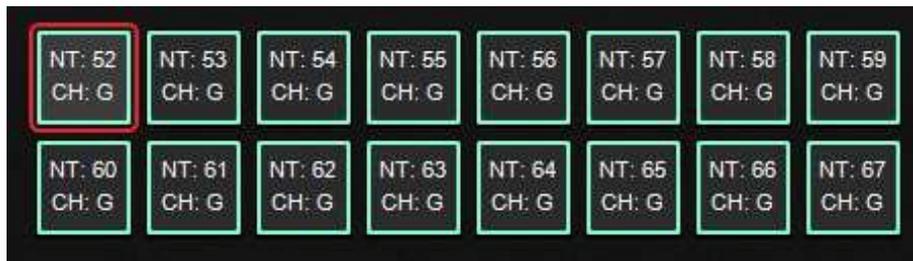


DAWタブでは、上記のパラメーターに加えて、以下のコントロールが可能になります。

- **Mode** :
 - **Mackie** : **Mackie Control** に設定すると、Mackie Control モードに対応した DAW でボタンを使用することができます。
 - **Mackie/HUI** : **Mackie/HUI** に設定すると、HUI モードに対応した DAW でボタンを使用することができます。

DAWのボタンには、録音、ソロ、ミュート、トラックセレクト時のボタンの割り当て可能なコントロールが含まれています。

パッド



プリセットモードでは、パッド（P1-P16）をクリックしOxygen Proの対応するパッドのMIDIの割り当てを設定することができます。MIDIモードではパッドの**カラー**だけでなく、パラメーターも割り当てることができます。

Bank 2, Pad 1

CHAN	Global	CC	52 Controller 52
MODE	CC	DOWN	0
COLOR	Aquamarine	UP	127
COLOR	Violet		



CC に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です:

- **CC**: パッドは、この CC ナンバーを使って MIDI メッセージを送信します。
- **COLOR**: パッドに割り当てる色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **COLOR**: パッドに割り当てる 2 つ目の色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **PRESS**: パッドを押すと、この値の MIDI CC ナンバーが送信されます。
- **RELEASE**: パッドを離すと、この値の MIDI CC ナンバーが送信されます。
- **cCHAN**: パッドはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。



CC Cycle に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です：

- **CC**：パッドは、この CC ナンバーを使って MIDI メッセージを送信します。
- **COLOR**:パッドに割り当てる色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **COLOR**:パッドに割り当てる2つ目の色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **CHAN**：パッドはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。
- **TYPE**：パッドを押すと、この数の CC ナンバーの値が1 つずつ循環します：**1 Values, 2 Values, 3 Values**, または **4 Values**
- **VALUE**：パッドを押すと、この CC ナンバーの値が1 つずつ、押すたびに循環して送信されます。

CHAN	Global	TYPE	Increment
MODE	CC Inc/Dec	CC	52 Controller 52
COLOR	Aquamarine	MIN	0
COLOR	Violet	MAX	127

CC Inc/Dec に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です:

- **TYPE** : パッドを押すと、プログラムの範囲内で次 (**Increment**) のまたは前 (**Decrement**) のプログラムナンバーを送信します。
- **COLOR** : パッドに割り当てる色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **COLOR** : パッドに割り当てる 2 つ目の色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **CC** : パッドは、この CC ナンバーを使って MIDI メッセージを送信します。
- **MIN** : 値の範囲内で最も低い値を設定します。
- **MAX** : 値の範囲内で最も高い値を設定します。
- **CHAN** : パッドはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。

CHAN	Global	PROGRAM	52
MODE	Program	MSB	0
COLOR	Aquamarine	LSB	0
COLOR	Violet		

PROGRAM に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です:

- **PROGRAM** : パッドを押すと、このプログラムナンバーが送られてきます。
- **COLOR** : パッドに割り当てる色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **COLOR** : パッドに割り当てる 2 つ目の色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **MSB** : パッドを押すと、このバンク MSB (Most Significant Byte) ナンバーが送信されます。
- **LSB** : パッドを押すと、このバンク LSB (Least Significant Byte) ナンバーが送信されます。
- **Chan** : パッドはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global)、特定のチャンネル (Channel 1-16)、ゾーン (Zone 1-4)、全チャンネル (Omni) のいずれかを選択します。



Program Cycle に設定されている場合、以下のパラメーターが利用可能です:

- **CHAN** : パッドはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global)、特定のチャンネル (Channel 1-16)、ゾーン (Zone 1-4)、全チャンネル (Omni) のいずれかを選択します。
- **COLOR**:パッドに割り当てる色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **COLOR**:パッドに割り当てる 2 つ目の色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。

- **TYPE** : パッドを押すと、この数の CC ナンバーの値が 1 つずつ循環します : **1 Values, 2 Values, 3 Values, または 4 Values**
- **PROGRAM** : パッドを押すと、このプログラムナンバーの値が1つずつ、押すたびに循環して送信されます。

CHAN	Global	TYPE	Increment
MODE	Program Inc/Dec	MIN	0
COLOR	Aquamarine	MAX	127
COLOR	Violet		

Program Inc/Dec に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です:

- **Type** : パッドを押すと、プログラムの範囲内で次 (**Increment**) のまたは前 (**Decrement**) のプログラムナンバーを送信します。
- **COLOR**:パッドに割り当てる色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **COLOR**:パッドに割り当てる2つ目の色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **MIN** : プログラムの範囲内で最も低いプログラムの値を設定します。
- **MAX** : プログラムの範囲内で最も高いプログラムの値を設定します。
- **CHAN**:パッドはここで選択したチャンネルでメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。



Note に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です：

- **CHAN**：パッドはここで選択したチャンネルでメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。
- **COLOR**：パッドに割り当てる色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **COLOR**：パッドに割り当てる 2 つ目の色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **TYPE**：**Latch On** に設定すると、パッドは押したときに 1 つの値を送信し、2 回目に押すと異なる値を送信し、押すたびに 2 つの値を交互に送信します。**Latch Off** に設定すると、パッドは押したときに 1 つの値を送信し、離れたときに 1 つの値を送信します。
- **NOTE**：パッドを押すと、この MIDI ノートナンバーが送信されます。
- **ON**：パッドを押してオンにすると、このベロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。
- **OFF**：パッドを押してオフにすると、このベロシティを持つ MIDI ノートナンバーが送信されます。この値は通常、**0** (ノートをオフにする) になります。

CHAN	Global	Enabled	<input checked="" type="checkbox"/>
MODE	Zone	Enabled	<input type="checkbox"/>
COLOR	Aquamarine	Enabled	<input type="checkbox"/>
COLOR	Violet	Enabled	<input type="checkbox"/>

Zone に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です:

- **CHAN** : パッドはこのチャンネルでメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択します。
- **COLOR** : パッドに割り当てる色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **COLOR** : パッドに割り当てる 2 つ目の色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **Enabled** : 関連する機能をオン/オフします。

DAWモードでは、パッド (**P1-P16**) のいずれかをクリックすると、Oxygen Proの対応するパッドのMIDIの割り当てが設定されます。MIDIモードのパッドには、パッドの[カラー](#)と同様にパラメーターを割り当てることができます。



CC に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です:

- **CHAN** : パッドはこのチャンネルでメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global)、特定のチャンネル (Channel 1-16)、ゾーン (Zone 1-4)、全チャンネル (Omni) のいずれかを選択します。
- **COLOR** : パッドに割り当てる色を選択します。詳しくは [カラー](#) をご参照ください。
- **COLOR** : パッドに割り当てる 2 つ目の色を選択します。詳しくは [カラー](#) をご参照ください。
- **CC** : パッドは、この CC ナンバーを使って MIDI メッセージを送信します。
- **PRESS** : パッドを押すと、この値を持つ MIDI CC ナンバーが送信されます。
- **RELEASE** : パッドを離すと、この値を持つ MIDI CC ナンバーが送信されます。



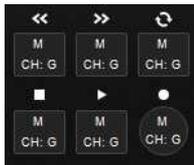
Note に設定されている場合、以下のパラメーターの設定が可能です：

- **CHAN**：パッドはこのチャンネルでメッセージを送信します。グローバルチャンネル（**Global**）、特定のチャンネル（**Channel 1-16**）、ゾーン（**Zone 1-4**）、全チャンネル（**Omni**）のいずれかを選択します。
- **COLOR**：パッドに割り当てる色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **COLOR**：パッドに割り当てる 2 つ目の色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。
- **TYPE**：**Latch On** に設定すると、パッドは押したときに 1 つの値を送信し、2 回目に押すと異なる値を送信し、押すたびに 2 つの値を交互に送信します。**Latch Off** に設定すると、パッドは押したときに 1 つの値を送信し、離れたときに 1 つの値を送信します。
- **NOTE**：パッドを押すと、この MIDI ノートナンバーが送信されます。
- **ON**：パッドを押してオンにすると、このベロシティで MIDI ノートナンバーを送信します。
- **OFF**：パッドを押してオフにすると、このベロシティを持つ MIDI ノートナンバーが送信されます。この値は通常、**0**（ノートをオフにする）になります。



Same as Preset に設定すると、Preset モードの時にパッドに割り当てられたメッセージと同じメッセージが送信されます。

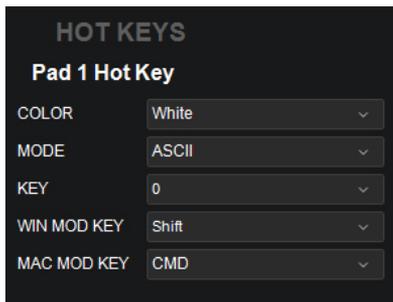
トランスポート コントロール ボタン



巻き戻し、早送り、ループ、停止、再生、録音のトランスポートコントロールを送信するためのパラメーターを以下から選択し設定可能です:

- **Mode :**
 - **CC :** CC に設定すると、このボタンは標準的な MIDI CC メッセージを DAW に送信します。
 - **PROGRAM :** Program に設定すると、Program メッセージに対応する DAW でボタンを使用することができます。
 - **Mackie :** Mackie Control に設定すると、Mackie Control モードに対応した DAW でボタンを使用することができます。
 - **Mackie/HUI :** Mackie/HUI に設定すると、HUIモードに対応したDAWでボタンを使用することができます。
- **PRESS :** ボタンを押すと、このCC値を送信します。
- **RELEASE :** ボタンを離すと、このCC値を送信します。
- **CHAN :** ボタンはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (Global) または特定のチャンネル(Channel 1-16) を選択します。
- **PROGRAM :** ボタンを押すと、このプログラムナンバーが送信されます。
- **MSB :** ボタンを押すと、このバンクMSB (Most Significant Byte) ナンバーが送信されません。
- **LSB :** エンコーダーを押すと、このバンクLSB (Least Significant Byte) ナンバーが送信されます。

HOT KEYS (ホットキー)



メトロノームまたはパッドのホットキーの機能は、以下から選択し設定可能です：

注意：ホットキーは、Preset Editor の DAW タブでのみ使用可能です。

COLOR：ホットキーに割り当てる色を選択します。詳しくは[カラー](#)をご参照ください。

MODE：CC、Note、ASCII、None からモードを選択します。.

KEY：パッドやメトロノームをホットキーでトリガーするのに通常設定のキーボードを使用するモードです。

WIN MOD KEY：パッドやメトロノームをホットキーでトリガーするのに Windows スタイルのキーボードを使用するモードです。

MAC MOD KEY：パッドやメトロノームをホットキーでトリガーするMacOSスタイルのキーボードを使用するモードです。

カラー

それぞれのパッドにはカラーを割り当てることができ、機能やメモなどの区別を容易にすることができます。各パッドには最大2色まで設定できます。

COLOR のドロップダウンメニューでは、以下の 13 色からお好みの色を選択可能です。

Off	Chartreuse (黄緑)
Chartreuse	Green (緑)
Green	Aquamarine (アクアマリン)
Aquamarine	Cyan (シアン)
Cyan	Azure (アズール)
Azure	Blue (ブルー)
Blue	Violet (紫)
Violet	Magenta (マゼンダ)
Magenta	Rose (ピンク)
Rose	Red (赤)
Red	Orange (オレンジ)
Orange	Yellow (黄色)
Yellow	White (白)
White	
Violet	

Bank 2, Pa

CHAN

MODE

COLOR

COLOR

鍵盤

ゾーン：

Oxygen Pro の鍵盤は 1~4 つの“ゾーン”に分割することができます。ゾーンが有効な場合、各ゾーンはその操作子の MIDI メッセージを自身の MIDI チャンネルから送信することができます。Preset Edit モード時のみ、鍵盤/ゾーンにパラメーターを割り当てることができます。

ヒント： この機能を使って、異なるバーチャルインストゥルメントやシンセサイザー用に鍵盤を分割することができます。例えば、2 つのゾーンを作成し、それぞれで異なる MIDI チャンネルを使用すれば、半分ずつの鍵盤で 2 つのバーチャルインストゥルメントを同時に演奏してコントロールすることができます。

Zone 1-4 のいずれかをクリックすると、その鍵盤ゾーンの設定を行うことができます。各ゾーンのパラメーターは個別に設定することができます。

	ZONE 1	ZONE 2	ZONE 3	ZONE 4
Enabled	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
CHAN	Global		FIRST	C (1)
PROGRAM	0		LAST	C (5)
MSB	0		OCTAVE	0
LSB	0		TRANSPOSE	0

各ゾーンに設定可能なパラメーターは以下の通りです：

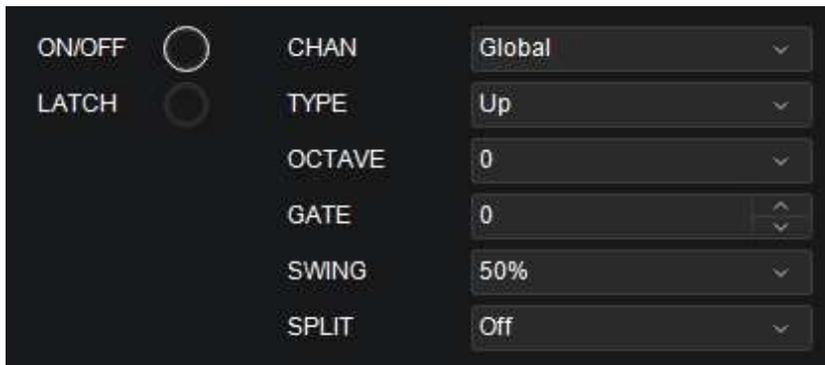
- **Enabled**：関連する機能の ON/OFF を切り替えます。
- **CHAN**：ゾーンからメッセージを送信するチャンネルの設定です。グローバルチャンネル（Global）か、特定のチャンネル（Channel 1-16）を選択してください。

注意：このゾーンに設定したチャンネルと同じチャンネルを他の機能に設定すると、どちらも同じチャンネルを兼用してメッセージを送信する設定になります（例：パッドと鍵盤に同じチャンネルを設定すると、パッドを叩いても鍵盤を押さえても同じ音が出る）。各機能のチャンネルは、用途に応じて個別に設定するのも良いでしょう。

- **PROGRAM**：このゾーンの鍵盤を押した際に送信されるプログラムナンバーをここで選択します。
- **MSB**：このゾーンの鍵盤を押した際に送信されるバンク MSB（Most Significant Byte）ナンバーをここで選択します。
- **LSB**：このゾーンの鍵盤を押した際に送信されるバンク LSB（Least Significant Byte）ナンバーをここで選択します。
- **FIRST**：このゾーンの最初の（一番左の）鍵盤をここで設定します。
- **LAST**：このゾーンの最後の（一番右の）鍵盤をここで設定します。
- **OCTAVE**：このゾーンのオクターブシフトの設定です。
- **TRANSPOSE**：このゾーンのトランスポジションの設定です。

注意：キーボード全体のオクターブおよびトランスポジションはゾーンのオクターブやトランスポジションからは独立していますが、これらはキーによって送信されるノートに影響します。

Arp (アルペジエーター) :



アルペジエーターでは、以下の設定を行うことができます。

- **ON/OFF** : アルペジエーターの ON/OFF を切り替えます。
- **LATCH** : アルペジエーターの **Latch 機能** の ON/OFF を切り替えます。**Latch 機能** とは演奏などを固定する機能で、つまり、ボタンや鍵盤から指を離しても音や演奏を鳴らし続けることができるモードのことです。

アルペジエーターで **Latch 機能** を ON に設定して鍵盤を押さえるとアルペジオ演奏が始まり、鍵盤から指を離しても演奏は続きます。

複数の鍵盤を押さえてアルペジオを演奏しながらさらに新しい鍵盤を押すと、アルペジオの和音が変化します。鍵盤から指を離して新たな音の組み合わせを押すと、アルペジエーターはその新しい和音を演奏します。

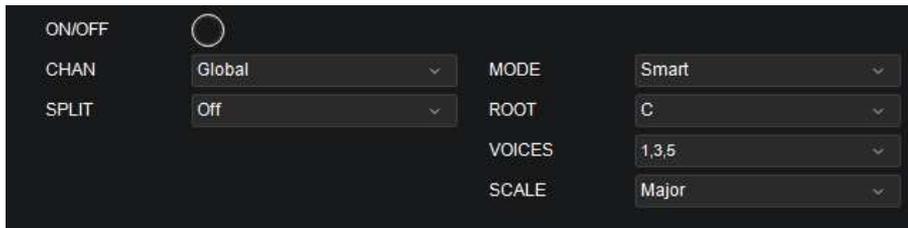
- **CHAN** : アルペジエーターからメッセージを送信するチャンネルの設定です。グローバルチャンネル (**Global**) か、特定のチャンネル (**Channel 1-16**) を選択してください。

- **TYPE** : アルペジエーターの**タイプ (演奏パターン)** をここで選択します。選択した演奏パターンでアルペジエーターのノートの再生方法が決まります。
 - **Up** : 和音の一番低いノートから一番高いノートの順番で発音を繰り返します。
 - **Down** : 和音の一番高いノートから一番低いノートの順番で発音を繰り返します。
 - **Inclusive** : 「ド・ミ・ソ」の和音の場合「ド・ミ・ソ」、「ソ・ミ・ド」、「ド・ミ・ソ」、「ソ・ミ・ド」のように発音を繰り返します。
 - **Exclusive** : 「ド・ミ・ソ」の和音の場合「ド、ミ、ソ、ミ」「ド、ミ、ソ、ミ」のように発音を繰り返します。
 - **Order** : キーボードを抑えた順番でアルペジオパターンの発音を繰り返します。
 - **Random** : ランダムな順番でアルペジオパターンの発音を繰り返します。
 - **Chord** : 和音が連打されたように演奏されます。
- **OCTAVE** : アルペジオのオクターブシフトの設定です。**0-3** の間の値で設定することができます。大きい値に設定するほどより多くの音が再生される設定になります。
- **GATE** : アルペジオのゲートの設定です。**5-100** の間の値で設定することができます。ゲートの値はアルペジエーターで音がどのくらいの長さで鳴るかを決定しますので、小さい値に設定するほど音も短くなります。
- **SWING** : アルペジオのスイングの設定です。**50%-75%**の間の値で設定することができます。スイングの値は、アルペジオの演奏がパターン化された鳴り方からどのくらい逸脱するかを決定しますので、大きい値に設定するほどタイミングの逸脱も大きくなり、スイング感のあるアルペジオになります。
- **SPLIT** : **スプリット機能**の ON/OFF を切り替えます。この機能を ON にすると、ゾーン機能のようにアルペジオに使用するゾーンを設定することができ、指定したゾーンの鍵盤を押さえた時だけアルペジオが鳴るようになります。

ON を選択すると、以下のオプションが設定可能になります。

 - **FIRST** : Split 機能用のゾーンの最初の (一番左の) 鍵盤をここで設定します。
 - **LAST** : Split 機能用の最後の (一番右の) 鍵盤をここで設定します。

CHORD（コードモード）：



コードモードでは、様々な設定を行うことができます。

- **ON/OFF**：コードモードの ON/OFF を切り替えます。
- **CHAN**：コードモードの使用にメッセージを送信するチャンネルの設定です。グローバルチャンネル（Global）か、特定のチャンネル（Channel 1-16）を選択してください。
- **SPLIT**：スプリット機能の ON/OFF を切り替えます。この機能を ON にすると、ゾーン機能のようにコードモードに使用するゾーンを設定することができ、指定したゾーンの鍵盤を押さえた時だけコードが鳴るようになります。
 - **ON** を選択すると、以下のオプションが設定可能になります。
 - **FIRST**：Split 機能用のゾーンの最初の（一番左の）鍵盤をここで設定します
 - **LAST**：Split 機能用の最後の（一番右の）鍵盤をここで設定します。
- **MODE**：Smart モードと Custom モードを切り替えます。
 - **Smart**：Smart コードモードではソングのキー（例えば、C Major）を選択することができます。鍵盤のキーを押すと、設定したキーのコードが演奏されます。
 - **Custom**：Custom コードモードでは、オリジナルのコードを設定することができます。この項目を選択すると、オリジナルコード設定用のドロップダウンメニュー（NOTE 1-6）が開くので、コードを作成するノートを選択してください。Custom コードモードでは、最大 6 つまでのノートが利用可能です。コードを作成すると、どの鍵盤のキーを押さえてもこのコード構成の和音を演奏することができます。

M-AUDIO

- **ROOT** : Smart コードモードに使用する和音のルートノート（根音）を選択します。
- **VOICE** : Smart コードモードで有効な運指を選択します。
- **SCALE** : Smart コードモードで使用するスケールを選択します。
Major（メジャー）と**Minor**（マイナー）から選択可能です。

SCALE（スケールモード）：



スケールモードでは、指定した 16 スケールのノート以外のキーは触っても鳴らない設定にすることができます。

- **ON/OFF**：スケールモードの ON/OFF を切り替えます。
 - **CHAN**：スケールモード使用時にメッセージを送信するチャンネルの設定です。グローバルチャンネル（Global）か、特定のチャンネル（Channel 1-16）を選択してください。
 - **SPLIT**：スプリット機能の ON/OFF を切り替えます。この機能を ON にすると、ゾーン機能のようにスケールモードに使用するゾーンを設定することができます。
 - **ON** を選択すると、以下のオプションが設定可能になります。
 - **First**：Split 機能用のゾーンの最初の（一番左の）鍵盤をここで設定します
 - **Last**：Split 機能用の最後の（一番右の）鍵盤をここで設定します。
 - **ROOT**：スケールモードに使用する和音のルートノート（根音）を選択します。
 - **SCALE**：スケールモードで使用するスケールを選択します。
 - **Chromatic**（クロマティック・スケール）
 - **Major**（メジャー・スケール）
 - **Dorian**（ドリアン・スケール）
 - **Phrygian**（フリジアン・スケール）
 - **Lydian**（リディアン・スケール）
 - **Mixolydian**（ミクソリディアン・スケール）
- 選択可能なスケールは以下の通りです。

M-AUDIO

- Minor Harmonic (ハーモニック・マイナー・スケール)
- Locrian (ロクリアン・スケール)
- Minor (マイナー・スケール)
- Minor Melodic (メロディック・マイナー・スケール)
- Pentatonic Major (メジャー・ペンタトニック・スケール)
- Pentatonic Minor (マイナー・ペンタトニック・スケール)
- Blues (ブルース・スケール)
- Altered Dominant (オルタード・スケール)
- Diminished Whole Half (ホール・ハーフ・ディミニッシュスケール)
- Whole Tone (ホールトーン・スケール)

Aftertouch (アフタータッチ) :



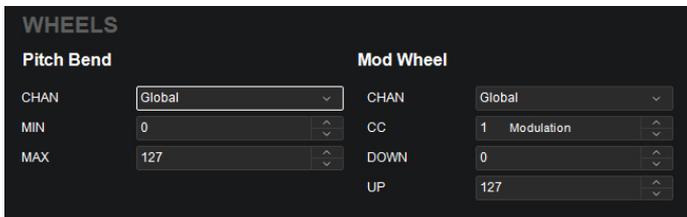
- **CHAN** : アフタータッチはここで選択したチャンネルのメッセージを送信します。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択可能です。
- **MIN** : アフタータッチを起動させるプレッシャー値 (鍵盤を弾く強さ) の最小値をここで設定します。
- **MAX** : アフタータッチを起動させるプレッシャー値 (鍵盤を弾く強さ) の最大値をここで設定します。

モジュレーションホイール&ピッチホイール

Oxygen Pro 本体の左側には2つのホイールがあり、左側が**ピッチホイール**、右側が**モジュレーションホイール**です。Preset Editor 上では、この2つのホイールのアイコンをクリックするとそれぞれのホイールにパラメーターをアサインすることができます。



ホイールにパラメーターをアサインすることができるのは、Preset Editor 上のみです。



Pitch Bend (ピッチホイール) :

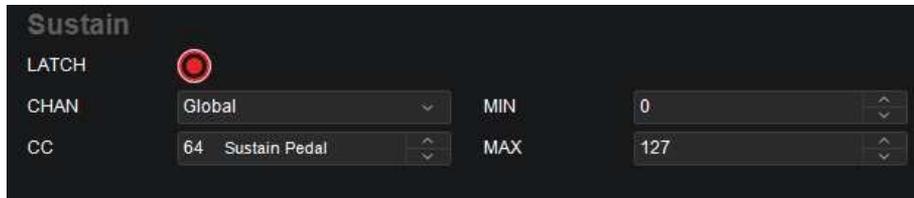
- **CHAN** : ピッチホイール使用時にメッセージを送信するチャンネルの設定です。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択可能です。
- **MIN** : ピッチホイールの最小値をここで設定します。この値を **Max** 値よりも大きくすることで、ホイールの極性を反転させることができます。
- **MAX** : ピッチホイールの最大値をここで設定します。この値を **Min** 値よりも大きくすることで、ホイールの極性を反転させることができます。

Mod Wheel (モジュレーションホイール) :

- **CHAN** : モジュレーションホイール使用時にメッセージを送信するチャンネルの設定です。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択可能です。
- **CC** : モジュレーションホイールでコントロールするパラメーターの MIDI CC 値を選択します。パラメーター名をダブルクリックし、MIDI CC 値を入力することで瞬時にお気に入りのパラメーターに変更することもできます。
- **MIN** : モジュレーションホイールの最小値をここで設定します。この値を **Up** 値よりも大きくすることで、ホイールの極性を反転させることができます。
- **MAX** : モジュレーションホイールの最大値をここで設定します。この値を **Down** 値よりも大きくすることで、ホイールの極性を反転させることができます。

サステインペダル

Preset Editor上で鍵盤の右隣にある、**SUS**と書かれたペダルのアイコンをクリックすると、サステインペダルの設定が行えます。



- **LATCH** : サステインペダルの **Latch 機能**の ON/OFF を切り替えます。Latch 機能が ON になっていると、ペダルを踏むと 1 つの値が送信され、2 回目に踏むと異なる値が送信され、押すたびに 2 つの値が交互に送信される設定となります。これを「ラッチング」または「トグル」動作と呼びます。Latch 機能が OFF になっていると、ペダルを踏んでる間だけサステイン効果がある設定になります。これは「モーメンタリー」と呼ばれる一般的なサステインペダルの設定です。
- **CHAN** : サステインペダル使用時にメッセージを送信するチャンネルの設定です。グローバルチャンネル (**Global**)、特定のチャンネル (**Channel 1-16**)、ゾーン (**Zone 1-4**)、全チャンネル (**Omni**) のいずれかを選択可能です。
- **CC** : サステインペダルでコントロールするパラメーターの MIDI CC 値を選択します。
- **MIN** : サステインペダルに反応する最小値をここで設定します。
- **MAX** : サステインペダルに反応する最大値をここで設定します。

グローバル設定

グローバル設定は、Oxygen Pro 全体の一括設定で、どのプリセットを使用している場合でも反映されます。

以下の項目が設定可能です。

- **MIDI CHANNEL** : メッセージを送信するチャンネルのグローバル設定で、**(Channel 1-16)** から選択可能です。**Chan** 設定が **Global** に設定されている他の機能からの MIDI メッセージは、このチャンネルを介して送信されます。
- **PROGRAM : Send Preset** をクリックした際に送信されるプログラムナンバーをここで設定します。
- **MSB : Send Preset** をクリックした際に送信されるバンク MSB (Most Significant Byte) ナンバーをここで設定します。
重要 : バンク LSB またはバンク MSB 番号は、その後にプログラムチェンジメッセージを送るまで、何の効果もない場合があります。
- **LSB : Send Preset** をクリックした際に送信されるバンク LSB (Least Significant Byte) ナンバーをここで設定します。
重要 : バンク LSB またはバンク MSB 番号は、その後にプログラムチェンジメッセージを送るまで、何の効果もない場合があります。
- **OCTAVE** : Oxygen Pro 全体のオクターブシフトの一括設定です。
重要 : 鍵盤全体のオクターブ設定やトランスポーズは、ゾーンのオクターブやトランスポーズとは独立していますが、これらの設定はすべて鍵盤から送信されるノートに影響します。
- **KEY TRANSPOSE** : Oxygen Pro 鍵盤全体の現在のトランスポーズ設定で、**(-12 - 12)** から選択可能です。
重要 : 鍵盤全体のオクターブ設定やトランスポーズは、ゾーンのオクターブやトランスポーズとは独立していますが、これらの設定はすべて鍵盤から送信されるノートに影響します。

- **KEY SENSITIVITY**：鍵盤の感度/ペロシティカーブの設定です。打鍵の強さに対し、出力されるノートのペロシティをお好みで選択することができます。詳しくは、後述の[付録 > ペロシティカーブ > 鍵盤](#)をご参照ください。
- **PAD SENSITIVITY**：パッドのペロシティ感度の設定です。パッドを叩く強さの設定ですので、パッドでノートを鳴らすのに必要な指の力の設定を選択することができます。詳しくは、後述の[付録 > ペロシティカーブ > パッド](#)をご参照ください。
- **CHORD MODE**：コードモードを ON にした際のアサインに関する設定です。選択可能な設定は、以下の 3 種類です。
 1. **Keys**：鍵盤でのみコードを演奏できる設定です。
 2. **Pads**：パッドでのみコードを演奏できる設定です。
 3. **Keys And Pads**：鍵盤とパッド両方でコードを演奏できる設定です。
- **MIDI DIN Out**：Oxygen Pro のリアパネルから送信される MIDI データを選択する設定です。選択可能な設定は、以下の 4 種類です。
 1. **Keys**：鍵盤からの MIDI データのみ 5 ピン MIDI 出力から送信される設定です。
 2. **USB**：USB 端子からの MIDI データのみ送信される設定です。
 3. **Keys/USB**：5 ピン MIDI 出力からの鍵盤演奏による MIDI データと USB 端子からの MIDI データが送信される設定です。
 4. **Off**：MIDI データが一切**送信されない**設定です。
- **DAW MODE BUTTONS**：DAW モードでキーボードが operate に設定されている際に使用可能なサブ機能を選択する設定です。選択可能な設定は、以下の 4 種類です。
 1. **Record**：録音トラックの選択
 2. **Select**：トラックの選択
 3. **Mute**：ミュートボタン
 4. **Solo**：ソロボタン

File メニュー

- Send Preset** この項目を選択すると、Preset Editor の現在の設定を、コンピューター接続を介して Oxygen Pro 本体に送ることができます。また、Oxygen Pro と接続したコンピューターで **Ctrl+Shift+S** を押すか (Windows の場合) **Command+Shift+S** を押す(macOS の場合)ショートカットでも同じ操作が行えます。
- Retrieve Preset** この項目を選択すると、Oxygen Pro 本体の現在の設定を、コンピューター接続を介して Preset Editor に送ることができます。また、Oxygen Pro と接続したコンピューターで **Ctrl+Shift+R** を押すか (Windows の場合) **Command+Shift+R** を押す(macOS の場合)ショートカットでも同じ操作が行えます。
- Load Preset** この項目を選択すると、コンピューター上のプリセットファイルを検索し、Preset Editor にロードすることができます。また、Oxygen Pro と接続したコンピューターで **Ctrl+O** を押すか (Windows の場合) **Command+O** を押す(macOS の場合)ショートカットでも同じ操作が行えます。
- Save Preset** この項目を選択すると、Preset Editor の現在の設定をプリセットファイルとしてコンピューターにセーブすることができます。また、Oxygen Pro と接続したコンピューターで **Ctrl+S** を押すか (Windows の場合) **Command+S** を押す(macOS の場合)ショートカットでも同じ操作が行えます。
- Exit** この項目を選択すると、Preset Editor を閉じることができます (Windows の場合)。
macOS の場合は、M-Audio Oxygen Pro Preset Editor メニューから **Quit M-Audio Oxygen Pro Preset Editor** を選択することで同じ操作を行います。

Help メニュー

Open User Guide この項目を選択すると、Preset Editor User Guide（本書）の英語版が開きます。

About Oxygen この項目を選択すると、ご使用の Preset Editor のバージョンを確認することができます。

Pro Preset Editor macOS の場合は、**About** という表記になっています。

付録

ペロシティカーブ

鍵盤

以下は、**グローバル設定**の**KEY SENSITIVITY**の項目で設定可能なペロシティカーブの詳細です。**Key Sensitivity**の選択について詳しくは、前述の**グローバル設定**の項目をご参照ください。

ペロシティ カーブナンバー	Preset Editor 上の表 記名	詳細
1	Low	ソフトタッチでは大きなペロシティが出にくい、強い打鍵を必要とする重い鍵盤のような Low 設定のカーブです。
2	Medium	デフォルトに設定されている、自然なタッチが実現する Mid 設定のカーブです。
3	High	ソフトタッチでも大きなペロシティが出やすい、強い打鍵を必要としない軽い鍵盤のような High 設定のカーブです。
4	Linear	打鍵の強さとペロシティが比例するリニア設定のカーブです。
5	Fixed 64	打鍵の強さに関わりなく、常に一定のペロシティ (64) で演奏できる設定です。

6	Fixed 100	打鍵の強さに関わりなく、常に一定のペロシティ (100) で演奏できる設定です。
7	Fixed 127	打鍵の強さに関わりなく、常に一定のペロシティ (127) で演奏できる設定です。

パッド

以下は、**グローバル設定**の **PAD SENSITIVITY** の項目で設定可能なペロシティカーブの詳細です。
Pad Sensitivity の選択について詳しくは、前述の**グローバル設定**の項目をご参照ください。

ペロシティ カーブナンバー	Preset Editor 上の 表記名	詳細
1	Low	ソフトタッチでは大きなペロシティが出にくい、パッドを叩く強い力を必要とする Low 設定のカーブです。
2	Medium	デフォルトに設定されている、自然なペロシティ表現が実現する Mid 設定のカーブです。
3	High	ソフトタッチでも大きなペロシティが出やすい、パッドを叩く強い力を必要としない High 設定のカーブです。
4	Linear	パッドを叩く強さとペロシティが比例するリニア設定のカーブです。
5	Fixed 64	パッドを叩く強さに関わりなく、常に一定のペロシティ (64) で演奏できる設定です。

- | | | |
|----|------------------------|--|
| 6 | Fixed 100 | パッドを叩く強さに関わりなく、常に一定のベロシティ（ 100 ）で演奏できる設定です。 |
| 7 | Fixed 127 | パッドを叩く強さに関わりなく、常に一定のベロシティ（ 127 ）で演奏できる設定です。 |
| 8 | Fixed 64,127 | パッドを叩く強さにより、ベロシティ（ 64 ）もしくは（ 127 ）の2種類の固定ベロシティのみで演奏できる設定です。 |
| 9 | Fixed 64, 100, 127 | パッドを叩く強さにより、ベロシティ（ 64 ）、（ 100 ）もしくは（ 127 ）の3種類の固定ベロシティのみで演奏できる設定です。 |
| 10 | Fixed 32, 64, 100, 127 | パッドを叩く強さにより、ベロシティ（ 32 ）、（ 64 ）、（ 100 ）もしくは（ 127 ）の3種類の固定ベロシティのみで演奏できる設定です。 |

商標およびライセンス

M-Audio は、inMusic Brands, Inc.の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

MacOS は、Apple Inc.の商標で、米国およびその他の国において Apple Inc.の登録商標です。

Mackie Control と HUI は LOUD Technologies Inc.の商標または登録商標です。

Windows は Microsoft Corporation の登録商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他すべての製品名または会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

m-audio.com

Manual Version 1.0